

《平成25年1月～3月会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 259社

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本	80社	神奈川県	33社	中部日本	50社	西日本	96社
-----	-----	------	-----	------	-----	-----	-----

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	32社	包装用容器・キャップ	38社	電気・電子・通信部品	54社
自動車・輸送機器部品	81社	住宅関連	10社	医療機器	6社
その他	25社				

3. 従業員数の内訳(パートを含む)

20人以下	60社	21～50人	61社	51～100人	62社	101～300人	42社
301人以上	18社						

4. 今期(平成25年1月～3月)の自社業況について(前期比・前年同期比%)

【※ 3ヶ月前比率/今回比率】

	平成25年1月～3月(実績)					
	前期(24年10月～12月)比			前年同期(24年1月～3月)比		
1) 生産・売上高	1. 増加 25.8/18.1	2. 横這 43.6	3. 減少 44.5/38.2	1. 増加 21.5/14.3	2. 横這 31.3	3. 減少 50.4/51.7
2) 製品単価	1. 上昇 2.7/3.1	2. 不変 83.8	3. 下落 22.3/13.1	1. 上昇 2.7/3.9	2. 不変 65.6	3. 下落 28.9/28.2
3) 採算	1. 好転 14.8/10.4	2. 横這 52.9	3. 悪化 43.4/35.9	1. 好転 13.7/8.9	2. 横這 39.8	3. 悪化 43.4/48.6
4) 所定外労働時間	1. 増加 18.4/11.2	2. 横這 61.8	3. 減少 32.8/25.9	1. 増加 13.7/11.2	2. 横這 58.7	3. 減少 32.8/27.0
5) 製品在庫	1. 増加 13.7/12.0	2. 不変 65.3	3. 減少 25.4/22.0	1. 増加 11.3/13.5	2. 不変 57.9	3. 減少 24.6/25.9
6) 材料原料単価	1. 上昇 23.0/54.8	2. 横這 44.4	3. 下落 3.5/0.4	1. 上昇 26.6/56.4	2. 横這 36.7	3. 下落 4.7/3.1
7) 総合判断	1. 好転 15.2/9.3	2. 横這 51.0	3. 悪化 43.0/39.0	1. 好転 12.9/8.1	2. 横這 39.8	3. 悪化 45.3/49.0
8) 25/4-6の見通し	1. 好転 11.7/12.7	2. 横這 52.9	3. 悪化 34.0/29.0	-	-	-

5. 当面の経営上の問題(%)

1. 売上不振	2. 輸出不振	3. 製品単価安	4. 取引条件悪化	5. 過当競争	6. 輸入品との競合
55.9/59.8	5.9/1.5	39.8/44.4	5.1/6.2	17.6/18.1	10.5/9.3
7. 流通経費増大	8. 原材料高	9. 借入負担増	10. 銀行の貸渋り	11. 人件費高	12. 技能者不足
3.9/5.0	30.1/58.3	7.0/6.9	0.8/1.2	12.1/13.5	15.2/15.8
13. 技術力不足	14. マーケティング力不足	15. 設備過剰	16. 法的規制	17. 為替問題	18. 環境問題
12.1/10.4	10.9/6.9	3.5/5.0	2.3/1.2	7.0/5.4	1.2/0.8
19. 人材育成	20. 研究開発	21. 事業承継	22. その他		
28.9/23.6	6.6/7.3	7.8/5.8	2.3/2.3		

22. その他の意見

電気料金の値上げ、4月から自動車関連が減産の傾向、不良率の低減

6. その他参考ご意見がありましたら、具体的にお書き下さい。

- 原材料の高騰と電気料金の上昇で今後の業績が心配です。
- 売り上げ増の理由はパチンコ関連の得意先を拡大したことによる。従来は車が50%以上でしたが、生産の海外移転により減少(35%)。円安株高による良い現象は全く現れていない。コストダウン要請が厳しい。材料費、燃料費さらに電気値上げも厳しい。大企業は賃上げをしているが、我々中小企業も社員へ将来希望が持てる賃金体系を執れるようにしたいが。
- お客様数の減少。
- 原材料高を納入単価へ上乗せできるようプラスチック製品製造業界として働きかけて欲しい。業界としての統一文章の作成。
- 電力料金高。
- 過度なインフレは材料価格上昇を招き、よろしくない。
- 株価が上昇しているが、我々の生産活動にはまだ反映されていない。国内企業が活性化するような政策を打ち出して欲しい。
- 見積減少。
- 原材料高。
- 材料の発注最小ロットが大きくなったままのため、開発案件及び小ロット生産品の足を引っ張っている。
- 合成樹脂メーカーの海外への生産移管により量的規制、単価アップ等加工メーカーには負担増となっている。車の大手サプライヤーの海外シフトにより国内生産が全盛期の1/3程度に縮小されている。
- 原材料単価が上昇してきているにもかかわらず、逆に大手客先からは値下げ要求が強い。大手販売店は自己の売価を下げずに、仕入先に押し付ける傾向は変わっていない。
- 不安定。
- シェールガスによる、樹脂市況の影響に冠する情報が知りたいです。
- 原材料値上、電気料金値上の悪影響が懸念される。
- 9月頃からましになるかと思っています。
- 国内では物造りは難しくなっております。材料、電気、人件費の維持をするのが大変です。製品の対価もさがり仕事の量も少なくなり設備もできなくなります。
- 法人税、固定資産税、消費税もあがってくる。資金繰りも大変です。
- 円安の為原材料高になっている、今後の為替の動向が気になる。
- 電気部品厳しい状況です、将来も不安です。
- 原料値上げに対する対処。
- 国内生産でも残る産業を開拓し育てる必要がある。